

#01 セキュリティコラム始めます



2025年12月3日（水）



みなさん、はじめまして。情報基盤統括センターアドバイザーの淵上です。

私は普段、企業の中で組織を守ったり、製品やサービスの安全性を高めたり、万が一トラブルが起きた際に対応したりする仕事をしています。そんな仕事を通じて感じる、私たちが安心して生活するために大切な「セキュリティ」のお話をさせてください。

「セキュリティ」や「サイバーセキュリティ」と聞くと、少し難しく、自分にはあまり関係ないこのように感じるかもしれません。最近では、大企業がサイバー攻撃を受けて商品が出荷できなくなったり、といったニュースも見かけるようになりましたが、それでも「自分とは違う世界の話」だと思っていませんか？

少し振り返ってみましょう。今から15年前の2010年、スマートフォンの普及率はたった4%でした。それが2015年には50%、2019年には80%を超え、2025年には98%に達すると言われています。このスマホの普及率は、まさに日本社会のデジタル化を映し出しています。あらゆるサービスがネットにつながり、私たちの生活は日々便利になっていますよね。

でも、便利になった一方で「安全性」はどうでしょうか？

アナログな時代であれば、家に鍵をかける、大事な物は金庫にしまうといった習慣が当たり前でした。しかし、デジタルの世界ではどうでしょう。パスワードの管理や、怪しいメール・SNSの詐欺情報への警戒……。安全にサービスを使うために本来必要なことでも、ついつい「面倒くさい」と感じて後回しにしてしまいがちではないでしょうか。

もしそうなってしまっているなら、今の便利な社会に対して、意識が少し追いついていない状態かもしれません。デジタルが前提の社会では、安全への意識も「アップデート」していくことが大切です。

これからは、普段目にするセキュリティの案内や注意喚起を「自分に関係あること」として、少しだけ気に留めてみてください。そうやって、デジタル社会をより賢く、安全に歩んでいきましょう。



ふちがみ しんいち
淵上 真一

電気株式会社 Corporate Executive CISO

NECセキュリティ株式会社 取締役

ベンチャー系システムインテグレータでのネットワークエンジニアを経て、専門学校グループを運営する学校法人に転職。

教員経験を経て、社外では司法、防衛関連のセキュリティトレーニングを手掛ける。2018年よりNECグループ全社セキュリティ統括を担当。

ISC2認定主任講師、Cisco Networking Academy Instructor Trainer

情報処理安全確保支援士集合講習認定講師、北海道大学 客員研究員

サイバーセキュリティ人材基盤協会理事、日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）

評議員、警察大学校嘱託講師、Hardening Project実行委員